



2016～17年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2016～2017)

会 長/大 杉 幹 夫
 幹 事/江 口 久 夫
 会報委員長/永 木 寛

創 立/昭和38年10月2日
 例会日/水曜日 12:30～13:30
 例会場/新ロイヤルホテル 四万十
 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
 TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
 ●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2483

第2614回 平成29年2月22日 (曇りのち晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 加用 高常会員
 3月1日(水) のプログラム：会員スピーチ (高知分区IM報告)
 3月8日(水) のプログラム：地区研修・協議会の報告

【会長挨拶】大杉会長

- 本年度4人目の新会員です。高知日野自動車(株) 中村営業所長 篠田哲也様です。
- ・ 18日は高知分区のIMに、6名で参加してきました。ご参加の皆様ご苦労様でした。
- ・ 理事会承認事項の報告です。中村高校野球部が40年ぶりに甲子園選抜大会に出場することとなりました。当クラブといたしまして、40万円を寄附することを決定いたしました。

【幹事報告】江口幹事

- ・ 3月のロータリーレート 1ドル=116円
- ・ ガバナー事務所より
 - 1) 地区米山記念奨学委員長より「特別寄附」のお願い
 - 2) 第1回日本RYLAセミナー参加のお願い
- ・ 高知中央RCより高知分区IM出席のお礼状
- ・ 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」203号配信
- ・ 宿毛RCより週報拝受
- ・ 四万十市民憲章推進協議会より平成29年度表彰の候補者(団体・個人)の推薦のお願い

【委員会・会員発言】杉本一博会長ノミニ

来期は当クラブ創立55周年を迎えます。それにつきまして、会長経験者の皆様に協議をして頂きたいと思っております。3月15日18時30分より厨房わかまつにて行いますのでよろしくお願い致します。

【新会員入会式】 推薦者 福原紀夫会員

篠田 哲也 昭和37年5月3日生れ (54歳)
 住所：四万十市中村東町1-5-26
 勤務先：高知日野自動車(株) 中村営業所 所長
 趣味：ゴルフ
 職業分類/自動車販売
 四大奉仕/職業奉仕委員会 親睦委員会



本日より中村ロータリークラブに入会させて頂きました篠田です。
 ロータリークラブに関しては何にも解りませんが、皆様方にご指導賜りながら頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



【本日のプログラム】 会員スピーチ 加用 高常会員



四万十川の特産品『青のり・青さのり』

皆さんこんにちは。新会員の自己紹介以来のスピーチとなりますが、本日は四万十川ののりについてスピーチをさせていただきます。

四万十川ののりと言ったら創業明治40年の(有)加用物産ですので、本日は加用物産のデータをもとに説明をさせていただきます。四万十川ではすじ青のりと青さのりという海苔が採取されております。この2種類の海苔は形状の使い方も全く違う海苔です。青のりは1~3月ぐらいに天然により採取され、河原で天日干しをしている糸状の海苔で、青さのりは2~5月に採れ胞子を網に付けて養殖により採取する扁平の海苔です。

青のりは明治40年ごろは地元だけで食べられていました。その四万十川の青のりを県外に広めたのが加用物産1代目の為治です。大正に入って、2代目の藤太郎が漁業関係者らに安定した収入を得るために生産出荷組合を組織し、出荷統制と価格安定に力を入れました。大阪市場に出荷が始まり、昭和58年頃までは50トン前後の生産量で、市場の70%程が四万十川産だったと言われておりました。

藤太郎は昭和に入って、青さのりの養殖を始めましたが成功には至らず、3代目の守が6年をかけ千葉水産試験場で東京大学の教授に

教わり、漁場の漁業権や漁場整備を行い、昭和37年に14年の年月をかけてやっと成功し、現在に至ったと聞いております。四万十川の青海苔も青さのりも、品質的に評価が高く、全国で高値により取引されてきましたがここ数年安定的な収穫量が無く、1年間を通しての販売ができなくなっています。最近徳島の養殖青のりが多くなっており、今では四万十川産は天然青のりの生息できない吉野川に負けている状態ですととても残念です。

青さのりは三重県が最大の産地で400~600トン位の生産量です。四万十川産は全国の収穫量の約3%程度の生産量ですが、品質的には評価は高く、県内のお土産店やスーパーなどを中心に販売、県外へも出荷されています。

現在、下田側と八束側の2か所で養殖を始めました。一時は1m位に伸びていましたが、無くなってしまいました。市の調査結果では恐らく鴨の食害だろうと判断されました。天然物が生えない環境の吉野川でさえ60~100トン程度の青のりが取れておりますので工夫次第で成功すると思っています。

次に海苔の加工及び流通です。青さのりは色・香りの良いものは乾物のままで小売商品や業務用の商品に使い、色・香りの悪いもの佃煮に使用します。

四万十川の青のり・青さのりは四万十市・高知県の皆様方によって守られてきましたが、この青のり養殖業が成功し四万十川の青のりが消えぬように、皆様のお力添えをお願いいたしまして、スピーチを終わらせていただきます。ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

大杉会長：高知分区LMに出席して頂き、ありがとうございました。

一藤会員：LM参加の皆様、ご苦労様でした。

明神会員：一藤さんよりリクエストがありました。

杉本会員：篠田さん、ご入会おめでとう。ドラフト1位入団をお祝いします。

仙石会員：先日は多数の会員の皆様のご来店ありがとうございました。今後はお客様としてご来店をお待ちしています。

稲田会員：仙石支店長、先週は職場訪問例会でお世話になり、ありがとうございました。

【出席報告】	・会員総数51名（免除会員5名）	・2/8の訂正 M12 62.22%→88.89%
	・本日の出席/34名 70.21%	・2/15の訂正 M2 84.44%→88.89%